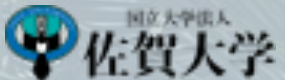
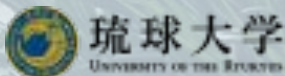


# 琉球大学・佐賀大学 ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業 事業報告

琉球大学医学部  
佐賀大学医学部

2024年1月19日第2回全国フォーラム





# 島医者・山医者・里医者 育成プロジェクト

ER型救急・総合診療に対応できる医師育成

海を隔て広い範囲に島々がある



## 離島診療所

全科対応、病床なし



## 離島病院

救急・入院・各科専門診療



# 離島・へき地で求められるスキル

- 守備範囲の広さ（総合診療能力）  
+
- 緊急性の判断（救急）
  
- どの科でも必要な総合力
  - 問診・身体所見から緊急性や診断のあたりをつける
  
- すくない人数でもやりくりする（守備範囲＋チームプレー）
  - 協働する
  - 現地のコメディカル、事務員、保健師、消防団、学校、行政など



# 島医者・山医者・里医者育成プロジェクト

- 琉球大学

- ・ 地域医療プログラム

- 佐賀大学

- ・ 地域医療プログラム

ハワイ大学

医学教育室、シミュレーションセンター

低学年

シミュレーション教育  
コンテンツ開発

チュートリアル教育  
コンテンツ開発  
PBL,TBL,CBL

高学年

沖縄県立中部病院  
県立病院・離島診療所など  
(総合診療・ER型救急)

診療参加型臨床実習  
離島・へき地など多様な  
医療現場で学ぶ

教育専任の臨床実習  
コーディネータ

総合力 (守備範囲・緊急性) + チーム力





---

琉球大学

# 琉球大学医学部医学科カリキュラム

- 地域医療コースに、一部別カリキュラムを用意

	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
	<p>離島体験 実習</p> <p><b>共通教育</b> (英語・情報科学・統計・ 化学実験など)</p> <p><b>基礎医学</b> (分子生物生物学、解剖、 組織など)</p> <p>プライマリ ケア演習I</p> <p>基礎医学 演習</p>	<p><b>基礎医学</b> (微生物免疫、病理、薬理、 遺伝など)</p> <p><b>臨床医学</b> (症候、プライマリケア、 各領域)</p> <p>プライマリ ケア演習II</p> <p>臨床医学 演習</p>	<p><b>臨床医学</b> 各領域 沖縄特色科目</p> <p>プライマリ ケア演習III</p> <p>医科学研究 離島地域病院 実習</p>	<p><b>社会医学 等</b> 法医学・病理・ 公衆衛生・東洋 医学</p> <p>症候別TBL Basic Physical Examination</p> <p>総合学習・救 急車同乗実習</p>	<p><b>臨床実習</b></p> <p>前半 2週間ごと各科・部署 ポリクリ実習</p> <p>後半 1ブロック4週間 クリニカル クラークシップ</p> <p>県立・離島北部 の病院 離島診療所 合計8~12週間</p>	<p>臨床総合講義</p> <p>総合試験 ・ 臨床実習 後OSCE 試験</p>
地域医療 コース						
一般 コース						

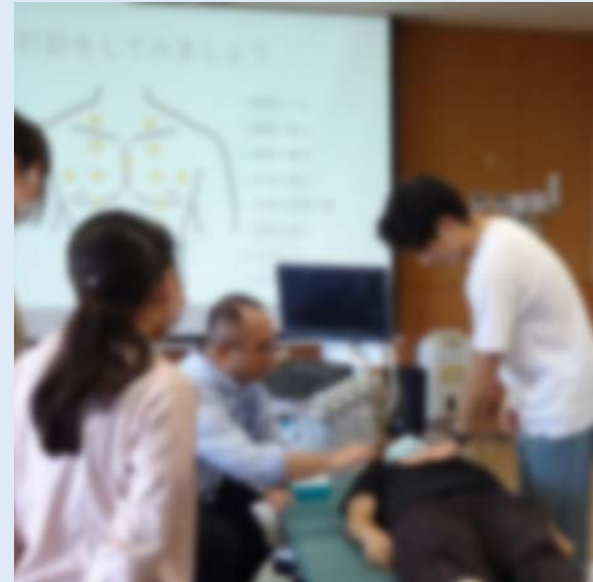
CBT・実習前OSCE試験

# 琉球大学地域医療コースプライマリケア演習I

2023年10月～12月

- 症候
  - 胸痛・息切れの問診
  - 呼吸の視診・打診、血圧測定
- 地域医療について
- 栄養
  - 食事聞き取り体験・尿中Na, Kから摂取量推定
- 社会的弱者について
- シネメデュケーション

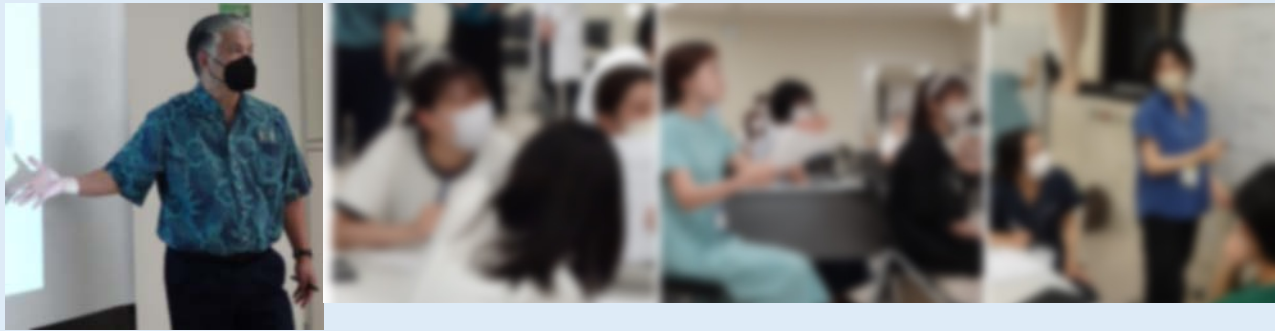
**少人数、臨床の入り口・地域医療の意識づけ・基礎との接続**





# ハワイ大学関連

- Kasuya・Oomori先生によるFD、医学部生向けPBLワークショップ



- Berg・Lee先生によるFD（シミュレーション）



# 島医者TV

- 「島医者」（先輩）と学生（後輩）をつなぐ
- キャリアイメージとネットワーク作り

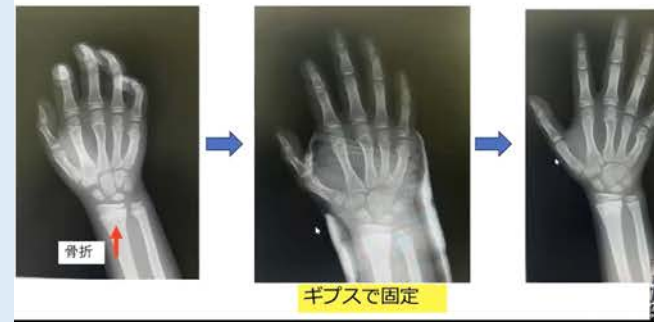
離島に行ってもよかったこと

患者さんとの関係

- \* 毎日一人一人に時間をかけて診察できることがシンプルに嬉しい
- \* 病気だけでなく生活のことも話せる  
○○の病気の方→その家の□□さん
- \* 色々な関係機関との連携が楽しい
- \* これまでやってきたことも活かせる  
搬送のタイミング（重症か軽症か急ぐか急がないか）

大変だけど楽しい！

小学生 木から右手をつくように落ちた。





# 高大接続

- 「医学塾」 八重山病院見学 2023年8月
  - 八重山高校 (約10人)
  - 大浜小中学 (約40人) 保護者含め



- 公開授業 2023年11月18日
  - 佐賀大学小田康友先生、新潟大学井口清太郎先生
  - 高校生対面13人、Zoom5名
  - 医学生対面8名



- オープンキャンパス・地域枠制度説明会  
2023年7月、9月



地域枠学生と医学部を目指す高校生のための  
白熱 公開授業

2023 11.18 日  
10:00~12:00  
おきなわクリニックコミュニケーションセンターにて

分利スマ講師の  
授業を体験  
してみよう

佐賀大学医学部 教授 小田康友先生  
新潟大学大学院 特任教授 井口清太郎先生

1校時 あなたなら、そこで何をみて・どう考え・どう動く？  
ー臨床能力を鍛える問題基礎型学習ー

2校時 雪国の中心で地域医療を叫ぶ！！

小田先生のメッセージ  
医師は、患者さんの状態やその病歴を、見て・考えて・確かめて、診断や治療をしています。何に注目して、どんな事実を引き出し、それをどう考えるかが医師の腕の見せ所です。授業として医師が何年生になるか、正しい診断や治療方針に至るには何が必須か、初歩的なシナリオで経験して理解を深めましょう。

井口先生のメッセージ  
医師が活躍する中で求められる医師とは何でしょうか。医療に求められる本質はコースに込められています。コースを卒業する存在しないのです。全国に比し20年高齢化を先取りする雪国・新潟の中心で、求められる地域医療や国が進めている地域医療構想について考えます。その本質は、沖縄にも、全国にも通じるものではないでしょうか。

公開授業の申込について  
事前の申込が必要です

定員：15名(対面授業)  
対象者：琉球大学医学部医学科地域枠学生(1~6年生)  
参加費：無料  
締切：2023年10月31日

申し込み  
上のQRコードか右のURLからお申し込みください

申込URL：<https://forms.gle/ABhvc5SpGGPwv9>

主催：琉球大学 ポストコロナ医療人材養成拠点形成推進事務局  
post\_corona@ics.u-ryukyus.ac.jp 連絡先：098-895-1820  
琉球大学・佐賀大学  
高崎市・山形市・鹿児島市育成7/50/118





佐賀大学

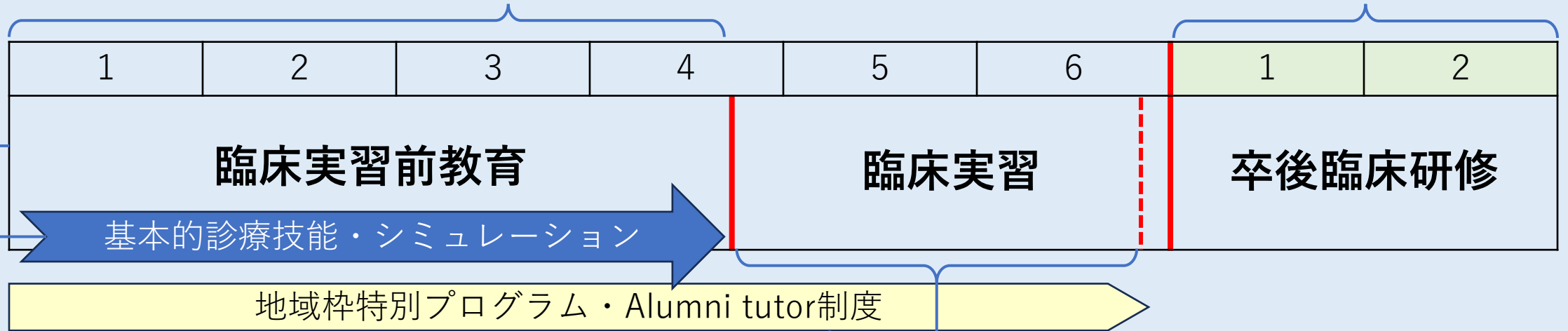
# カリキュラム全体のAL化とLearning Societyの形成

Active Learning

- 佐賀県全体で研修医・専攻医の獲得、研修の標準化
- 専門研修への働きかけ

- 高大連携
- 入試制度改革

- Dx・シミュレーションによるALの深化
- 電子教科書の一括導入



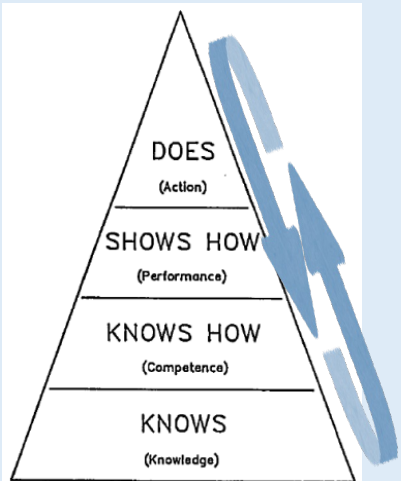
- 初年次からの技能訓練・シミュレーション
- 模擬患者/スキルトレーナーチームの活動拡大

- 学外卒業生チューターによる一般医像・総合診療像形成（地域枠学生）

- 臨床実習コーディネーターチームの発足
- 実習プログラム改訂
- Student as Teachersプログラム導入

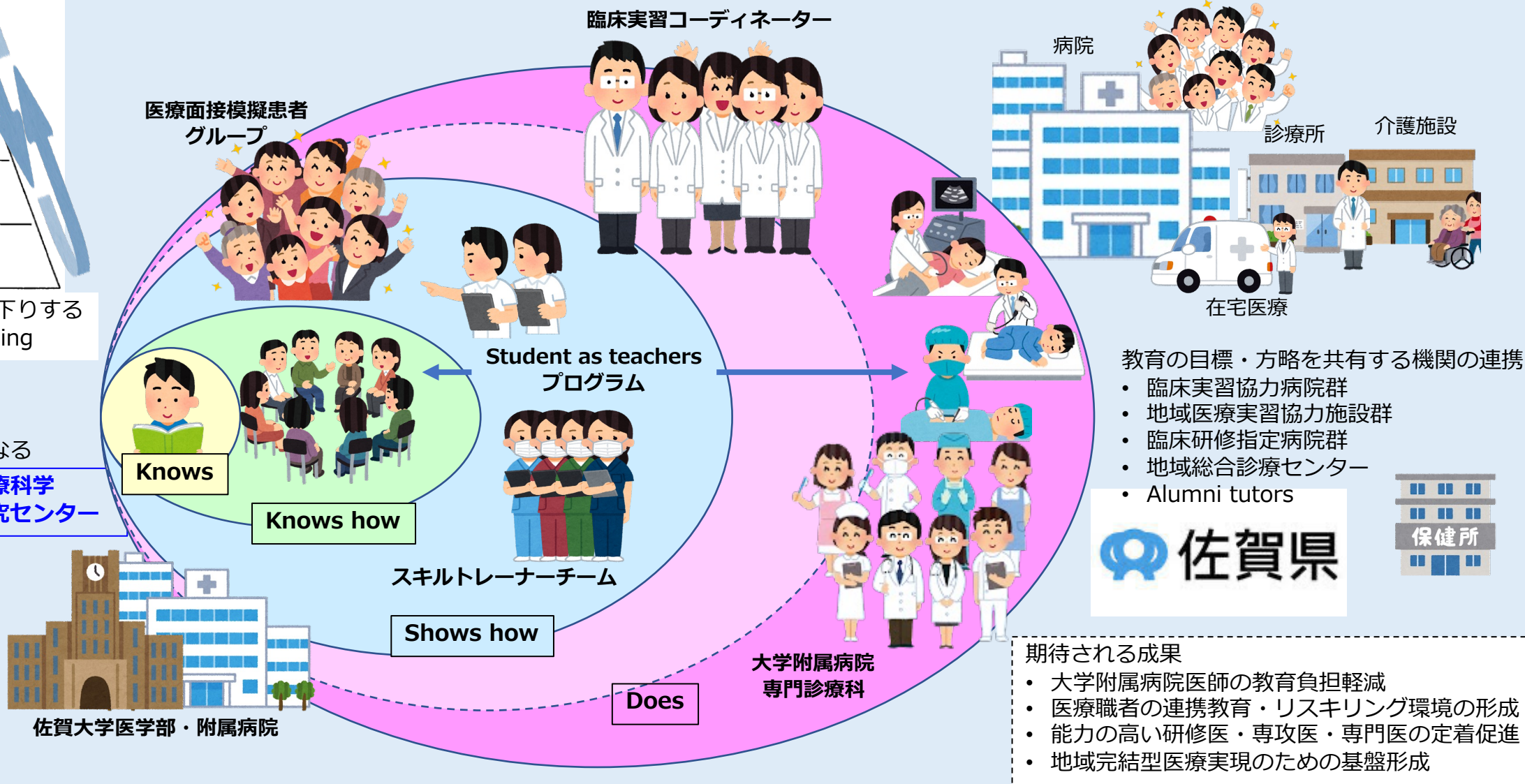


# 卒前・卒後を包括する医学教育課程のActive Learning化を支援するLearning Society@Sagaの形成



全学修段階を上り下りする  
Active Learning

中核となる  
地域医療科学  
教育研究センター



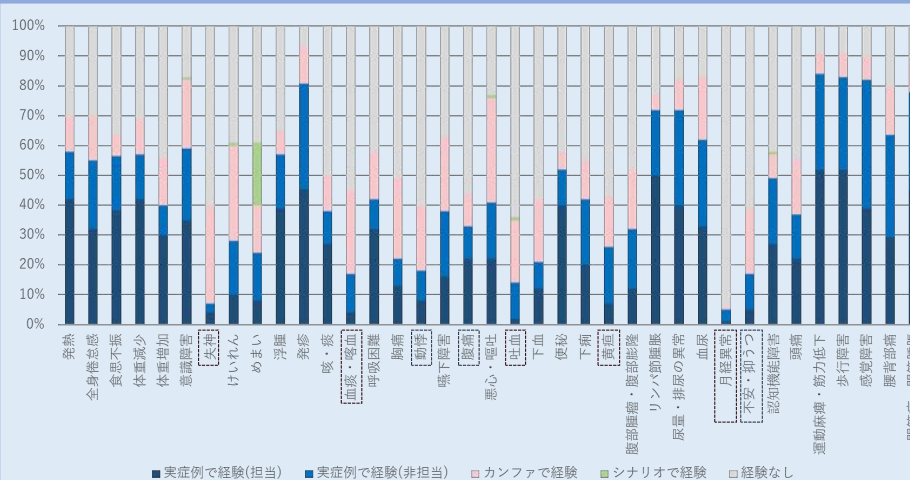
# 臨床実習コーディネーター@佐賀大学

- ☑ 5名からなる臨床実習における医学生教育専任の医師（2023年10月17日時点）
- ☑ 5名のうち4名が産後復帰女性医師（1名は総合診療部出身の男性医師）

## 臨床推論能力の育成



## 医行為・症候・疾患の経験度を管理



## 手術室実習ラウンド

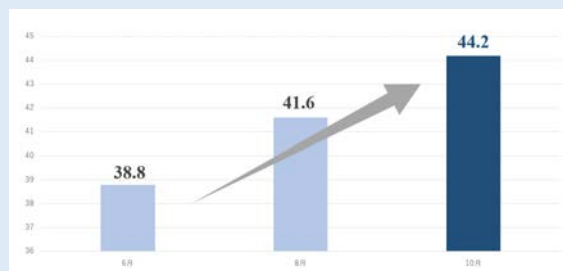


## 「働く」意識の醸成

1. 臨床の歯車になる意識
2. 地域医療志向
3. 安全な医療の実践
4. 良好な人間関係構築
5. 問題解決能力など

## 学生の満足度調査 および 実習広報

<学生満足度：上昇傾向>



## 最終目標

臨床実習の質を向上



1. 佐賀に残る初期研修医増加
2. 佐賀に戻る専攻医増加



# 琉球大学・佐賀大学合同シンポジウム開催

文科省俵幸嗣さま 北村聖先生

永田康浩先生（長崎大学）

琉球大学・佐賀大学の取組

パネルディスカッション(沖縄県、離島病院院長、地域卒卒業生、医学生)

2023  
**11/18 (土)**  
13:00~16:00  
(Zoom配信併用)  
会場:おきなわクリニカル  
シミュレーションセンター3階  
(琉球大学上原キャンパス内)

文部科学省補助事業  
ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業

琉球大学・佐賀大学合同  
シンポジウム

**プログラム**

開会の挨拶 筒井 正人氏 (琉球大学医学部長) 野出 孝一氏 (佐賀大学医学部長) 司会: 筒井 正人氏

第1部 特別講演1 司会: 筒井 正人氏  
「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業に期待すること」 俵 幸嗣氏 (文部科学省高等教育局医学教育部長)

第1部 特別講演2 司会: 大塚祐輔氏  
「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業で養成すべき人材」 北村 聖氏 (地域医療振興協会顧問、東京大学名誉教授)

第2部 本プロジェクトの紹介、成果、他機関の取組み 司会: 高橋英氏

琉球大学の取組み 宮原 貴氏 (琉球大学 医学教育企画室長、副医学部長 教授)  
金城紀寿史氏 (琉球大学 ポストコロナ事業担当 特命教授)

佐賀大学の取組み 小田 康友氏 (佐賀大学医学部 地域医療科学教育研究センター長 副医学部長 教授)  
山下 龍氏 (佐賀大学医学部 地域医療科学教育研究センター 特任准教授)

「長崎大学の地域医療教育と長崎・熊本・鹿児島3大学で取り組むポストコロナ事業について」 永田 康浩氏 (長崎大学大学院医療歯学総合研究科 地域医療学分野 教授)

第3部 シンポジウム 司会: 川原由和氏

「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業に期待すること」 パネリスト:  
川崎 孝幸氏 (沖縄県保健医療部医療政策課) 久高 将太氏 (伊江村立診療所)  
岸本 慎三氏 (沖縄県立吉古病院院長) 比嘉定祐子氏 (琉球大学医学部医学科)

■申し込み方法: 会場参加・オンライン参加ともに事前申込制です  
申込フォームURL⇒ <https://forms.gle/CGQsZr68LxIC2Wcm9>

■締め切り : 会場参加 11月15日 オンライン参加 11月15日

■お問い合わせ先: 琉球大学ポストコロナ事業事務局  
Tel : 098-895-1820  
Mail : [post\\_corona@ars.u-ryukyuu.ac.jp](mailto:post_corona@ars.u-ryukyuu.ac.jp)

主催: 琉球大学ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業事務局 琉球大学、佐賀大学 島医者・山医者・聖医者育成の1歩





# まとめ

## 琉球大学

- 地域医療コースを新設
  - 一部別カリキュラム
  - 少人数、基礎と臨床の接続
  - 「島医者」を意識
  - 総合力育成

## 佐賀大学

- アクティブラーニング進化のための教育連携（Learning Society）
- 臨床実習コーディネーター

- 高校～医学生～卒業生
  - 屋根瓦（教え学びあう文化）
- 地域医療を支える人材育成